

園だより

第12号 令和6年2月26日



ばんけい幼稚園

春の先がけ

園長 加藤 邦彦

毎年、3学期の中盤にさしかかると、子どもたちにある変化が見られます。一例をご紹介します。緑組のあるお子さんは、朝や帰りの私とのご挨拶を、それまでは自信なさそうにしていたのですが、張りのあるいい声ですることができるようになりました。赤組のあるお子さんは、好きな遊びをしている中で、私が近くにいることに気づき、「園長先生」と呼んでくれるようになりました。相手意識や他者と関わる力が芽生えていることの表れです。その一方で、こんなお子さんもいます。いつもと違い、ちょっと元気がないと感じられるようになるのです。しかし、これは一時的なものです。その子は、何か物事を深く考えていたり、進級に対してちょっとした不安感を抱いたり…といった理由によるものと思われます。私にとって、子どもたちのこうした変化は、春の訪れの先がけでもあるのです。